

長崎県立高等学校教育改革 第 7 次 実 施 計 画



平成 2 5 年 4 月 2 6 日

長崎県教育委員会

目 次

長崎県立高等学校教育改革第7次実施計画の策定について.....	1
《1》本県初の国際人材育成を目指す国際関係に関する学科の設置.....	2
《2》新たな連携型中高一貫教育の導入.....	3
《3》本県初の芸術系専門学科「美術・工芸科」の設置.....	4
《4》地域と連携し、地域人材の育成を目指した学科の改編.....	5
第7次実施計画（総括表）.....	6

長崎県立高等学校教育改革第7次実施計画の策定について

長崎県教育委員会は、時代の要請や社会の変化、少子化による生徒数の長期的な減少など、本県高等学校教育を取り巻く環境の変化や諸課題に対応するとともに、21世紀を切り拓き本県の将来を築く人づくりを担う高等学校づくりをこれまで以上に推進するため、今後の県立高等学校教育の改革や適正配置等に関する基本的な考え方を示す「第二期長崎県立高等学校改革基本方針」（計画期間：平成23～32年度、以下「第二期基本方針」という。）を平成21年3月に策定した。

第二期基本方針においては、平成13年2月に策定した「長崎県立高等学校改革基本方針」のもとで進めた具体的施策の検証を踏まえ、必要な見直しを行いながら改善を図るとともに、生徒や学校の実態等に応じて柔軟な教育システムの導入や学科の更なる特色化を図り、教育内容の充実に努めていくこととしている。

今回策定した「長崎県立高等学校教育改革第7次実施計画」（以下「第7次実施計画」という。）は、国際社会で活躍できる人材（以下「国際人材」という。）の育成を図る本県初の国際関係に関する学科の設置など、平成26年度から27年度に実施する施策をまとめたものである。

今後、県教育委員会及び関係高等学校においては、第7次実施計画の着実な推進に努め、教育水準の維持・向上を図っていくものとする。

《 1 》 本県初の国際人材育成を目指す国際関係に関する学科の設置

急速な国際化の進展に伴い、わが国では経済学や法学などの文系分野のみならず、理工学や医学などの理系分野にいたるまで、一定の外国語コミュニケーション能力を備えた国際人材の育成が強く求められている。そのため、生徒の外国語に対する関心・意欲を高め、語彙力や表現力を磨き、外国語活用能力と同時に、望ましい国際感覚を身に付けさせる必要がある。

本県では、こうした社会の変化に対応するため、小中高を通じた外国語教育の強化に全県的に取り組むこととし、高等学校においては、県立高校全体の外国語教育の研究拠点として、長崎東高等学校に本県初の「国際関係に関する学科」を設置し、本県独自の国際人材育成に向けた取組を始めることとする。

長崎東高等学校は、県内でも有数の歴史と伝統のある普通科高校であり、平成16年度から併設型中高一貫教育校として、中高6年間の計画的・系統的な教育活動を推進している。また、国際人材の育成に重点を置いた取組も進んでおり、このような教育環境は、中学校、高等学校の各段階における外国語教育を研究する拠点校として最適であり、効果的な指導法や指導技術の研究開発及びその発信に取り組みたい。

< 設置する高等学校 >

- ・ 長崎東高等学校・・・平成27年度

併設する長崎東中学校においても国際人材の育成を目指した教育を平成26年度から導入する

《 2 》 新たな連携型中高一貫教育の導入

連携型中高一貫教育は、中高の合同行事や合同部活動、教員の相互乗り入れ授業、6年間を見通したカリキュラム編成などにより、小規模校であっても高い教育成果が期待される。

上対馬高等学校は、連携しようとする中学校からの入学者数の割合など、導入要件を満たすことから、連携型中高一貫教育を導入する。

連携する中学校は、対馬市立比田勝中学校と佐須奈中学校の2校になり、複数中学校との連携となるが、対馬上地区における連携型中高一貫教育に対する期待は大きく、地域と一体となった取組により、教育水準の維持・向上に努めることとする。

< 導入する高等学校 >

- ・ 上対馬高等学校・・・平成26年度

連携する中学校 対馬市立比田勝中学校並びに
対馬市立佐須奈中学校

【導入要件】 第二期基本方針より抜粋

当該高等学校と連携する中学校が2校以内であり、当該高等学校と連携する中学校との距離が6km程度内であること。

当該高等学校の入学者が導入後一定期間2学級以上見込まれること。

連携する中学校から当該高等学校への入学者が3分の2以上あり、当該高等学校の入学者の4分の3以上を連携中学校の卒業者が占めていること。

当該高等学校や連携する中学校が所在する市町及び市町教育委員会が連携型中高一貫教育の導入を希望するとともに、中高一貫教育に協力できる態勢にあること。

《 3 》 本県初の芸術系専門学科「美術・工芸科」の設置

波佐見高等学校は、「陶芸の町」として有名な波佐見町に位置しており、地場産業である陶磁器製造の後継者育成、陶芸教育を通じた郷土理解の増進と創造性豊かな人間の育成、さらには学校の活性化を目指して、平成7年度から普通科に定員20名の「陶芸デザインコース」を設置し、県下全域から募集を行っている。

設置後、陶芸、美術、デザインの各分野で、県高等学校総合文化祭美術展はもとより、県展などでも多くの入選者を出すなど、高い教育実績を上げ、地域との様々な交流事業にも努め、地域が求める人材の育成に貢献してきた。

しかしながら、近年、陶磁器製造業が様々な素材を用いた「総合的なものづくり」産業へと変化しつつあり、伝統的な工芸技術に加えて、機能性やデザインなども重視されるようになった。そのため、陶芸の基本的技能だけでなく、美術系の大学や専門学校等で習得可能な、美術やデザインに関する高い芸術的な感性や技能を有する人材が求められるようになってきた。

こうした観点から、新学科設置により、地域の人材ニーズや生徒の多様な進路希望に応えられるよう専門教育の充実を目指すこととする。また、地域との連携を強化し、伝統工芸士のみならず、美術・工芸分野のスペシャリストとして、将来、地域や本県などで活躍できる人材の育成に努めるとともに、本県芸術教育の一層の充実を図ることとする。

波佐見高等学校	学科改編・・・平成26年度 <u>普通科陶芸デザインコース</u> ↓ <u>美術・工芸科</u> （1学年定員20名）
---------	---

《 4 》 地域と連携し、地域人材の育成を目指した学科の改編

松浦高等学校は、地域を支える人材の育成を目指して、普通科内に進路別のコースを設置するなど、就職から大学進学にいたるまで、多様な生徒の進路希望実現に真摯に取り組んでいる。しかしながら、長引く不況のもと、中学生や保護者の就職や資格取得に対する志向の高まりを受けて、中学生の専門学科高等学校へ進学する傾向が強まってきている。

こうした教育的ニーズの変化に対応し、地域の人材ニーズや地域の期待に沿う学校づくりを進めるためには、これまで普通科の中で積み上げてきた「キャリア教育」をさらに進化させるとともに、就職希望者に対して入学段階から専門的な職業教育を提供し、有用な資格取得等を目指す専門学科の設置が必要である。

商業教育は、ビジネスに関する知識や技能の習得だけでなく、地域の産業や経済にかかる実践的な教育により、地域社会の担い手となる職業人の育成が期待できる。

松浦高等学校がこれまで以上に生徒一人一人の進路希望実現にきめ細かく対応する教育活動を推進するとともに、地域との連携を一層強め、地域の人材育成の拠点として更なる発展を遂げ、市内唯一の県立高校として信頼を高めていくことができるよう、平成26年度から商業科を設置し、資格取得や進路実績の向上に向けた新たな学校づくりを展開することとする。

松浦高等学校	学科改編・・・平成26年度 <u>普通科 3学級</u> ↓ <u>普通科 2学級、商業科 1学級</u>
--------	--

長崎県立高等学校教育改革第7次実施計画(総括表)

1 実施計画の概要

平成21年3月に策定した「第二期長崎県立高等学校改革基本方針」に基づき、平成26年度から27年度に実施する施策。

2 実施計画の内容

《1》本県初の国際人材育成を目指す国際関係に関する学科の設置

経済学や法学などの文系分野のみならず、理工学や医学などの理系分野にいたるまで、国際社会で活躍できる人材を育成するとともに、中学校、高等学校の各段階における外国語教育を研究する拠点校として、効果的な指導法や指導技術を研究開発し発信する。

<設置する高等学校>

- ・長崎東高等学校…平成27年度

併設する長崎東中学校においても国際人材の育成を目指した教育を平成26年度から導入する

《2》新たな連携型中高一貫教育の導入

中高の合同行事や合同部活動、教員の相互乗り入れ授業、6年間を見通したカリキュラム編成などにより、小規模校であっても高い教育成果が期待される連携型中高一貫教育を導入する。

<導入する高等学校>

- ・上対馬高等学校…平成26年度

連携する中学校 対馬市立比田勝中学校並びに
対馬市立佐須奈中学校

《3》本県初の芸術系専門学科「美術・工芸科」の設置

美術・工芸分野のスペシャリストとして、将来、地域や本県などで活躍できる人材の育成に努めるとともに、本県芸術教育の一層の充実を図る。

波佐見高等学校	学科改編…平成26年度 普通科、商業科 普通科、商業科、<u>美術・工芸科</u>
----------------	--

《4》地域と連携し、地域人材の育成を目指した学科の改編

地域との連携を一層強め、地域の人材育成の拠点として更なる発展を遂げ、地域の信頼を高めていくことができるよう商業科を設置し、資格取得や進路実績の向上に向けた新たな学校づくりを展開する。

松浦高等学校	学科改編…平成26年度 普通科 普通科、<u>商業科</u>
---------------	---

「長崎県立高等学校教育改革第7次実施計画」

長崎県教育庁 総務課 県立学校改革推進室

〒850-8570 長崎市江戸町2 - 13

TEL 095-894-3317 FAX 095-894-3470

ホームページ http://www.pref.nagasaki.jp/edu/school_edu.php